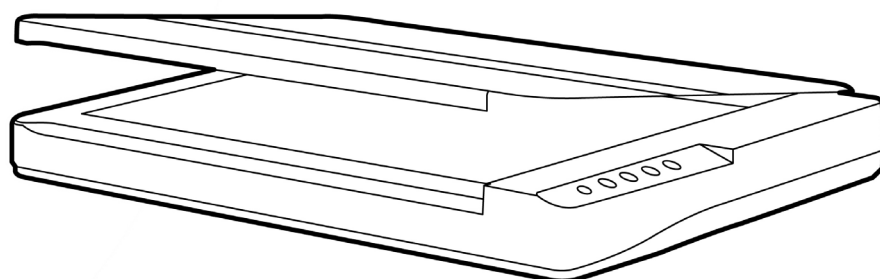


**plustek**

# スキャナ ユーザーガイド OpticSlim



## 登録商標

© 2022 すべての権利を留保されます。本印刷物のいかなる部分も許可なしに複製することはできません。

Plustek は、Plustek 社の登録商標です。OCR 処理技術は、ABBYY® FineReader®, © 2022 ABBYY 提供です。ABBYY および FineReader は、ABBYY Software, Ltd の登録商標であり、幾つかの法的機関にも登録されています。

本印刷物に記載されている商標およびブランド名はすべて各社の所有物です。

## 免責事項

本マニュアルの内容の正確さを保つため最大限の努力を払っておりますが、誤記、欠落、本マニュアルの記載内容により生じたいかなる過失、事故、その他の因果関係について弊社では一切責任を負いません。本マニュアルの内容は予告無く変更されることがあります。ユーザーが当マニュアルの指示に従わなかった場合、当社は法的な責任を一切負いかねます。

## 著作権

小切手、紙幣、ID カード、債権、公的書類等をスキャンすることは法律で禁じられています。また刑事訴追される場合があります。本書で使われている全ての商標、ブランド名は知的所有物です。本書を許可無く複製することは禁じられています。また本、雑誌、その他をスキャンする際には著作権法を遵守してください。

## 環境に関するお知らせ

製品寿命に達した際のリサイクルや廃棄に関するの詳細は、最寄りの代理店か販売店にお尋ねください。本製品は地球環境を壊さないよう設計、製造されています。弊社ではグローバルな環境基準沿った製品造りを心がけております。廃棄の方法についてはご使用している地域の関係機関にお問い合わせをしてください。

商品のパッケージングはリサイクル可能です。

# 目次

|   |           |
|---|-----------|
| はじめに.....                                       | 1         |
| 本書の使い方.....                                     | 1         |
| 本書の表示.....                                      | 1         |
| アイコンについて.....                                   | 2         |
| 安全上のご注意.....                                    | 2         |
| 必要システム構成.....                                   | 3         |
| 梱包箱の内容物.....                                    | 3         |
| スキャナの概要.....                                    | 4         |
| <b>第1章 スキャナーの設置.....</b>                        | <b>6</b>  |
| ソフトウェアをインストールするにあたっての要件.....                    | 6         |
| ハードウェアの要件.....                                  | 6         |
| スキャナーの設置と設定.....                                | 7         |
| ステップ 1. スキャナーのコンピュータに接続します.....                 | 8         |
| ステップ 2. ソフトウェアのインストール.....                      | 10        |
| ステップ 3. スキャナーのテスト.....                          | 11        |
| 追加のソフトウェアのインストール.....                           | 12        |
| <b>第2章 スキャン操作.....</b>                          | <b>13</b> |
| 文書の準備.....                                      | 13        |
| 文書の状態の確認.....                                   | 13        |
| ドキュメントの置き方.....                                 | 13        |
| スキャナーのフラットベッドを使用するスキャニング.....                   | 13        |
| ドキュメントのスキャニング.....                              | 14        |
| TWAINインターフェイスを介してスキャンする.....                    | 14        |
| スキャナのボタン、またはDocActionズエグゼキュートメニューからのスキャニング..... | 16        |
| DocActionウインドウ左側のアイコンからスキャンします.....             | 17        |
| <b>第3章 お手入れとメンテナンス.....</b>                     | <b>19</b> |
| スキャナーの清掃.....                                   | 19        |
| 清掃用具.....                                       | 19        |
| フラットベッドの清掃.....                                 | 20        |
| スキャナのキャリブレーションを行う.....                          | 20        |
| スタンバイモード.....                                   | 21        |
| <b>第4章 トラブルシューティング.....</b>                     | <b>22</b> |
| スキャナーの接続.....                                   | 22        |
| <b>別表A: 製品仕様.....</b>                           | <b>23</b> |
| <b>別表B: カスタマーサービスと製品保証.....</b>                 | <b>24</b> |
| サービスおよびサポート情報.....                              | 24        |
| 製品保証.....                                       | 25        |
| FCC規格.....                                      | 26        |

# はじめに

Plustek スキャナーをお買い上げいただきありがとうございます。弊社製品が日々の電子イメージ、テキスト入力作業にお役にたてることを切望しております。製品は万全ユーザーってから出荷されておりますが。

本書の最終ページに Plustek の連絡先リストが記載されています。ご登録いただいたお客様はカスタマーサポート、新製品情報、ソフトウェアのアップグレードを受けることができます。

## 本書の使い方

本書ではスキャナーの設置及び取扱い方法を説明しております。ご使用になる方が Microsoft Windows の操作に慣れていることを前提に本書は書かれています。必要に応じて Microsoft Windows のマニュアルを参照してください。

はじめにの項では梱包箱の内容説明、スキャナーを使用する際に必要なコンピュータのシステム構成等が書かれています。設置前には全ての部品が揃っているか必ず確認してください。欠品または損傷があった場合には速やかにお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

第一章ではコンピュータキヤナのソフトウェアのインストール方法、スキャナーとコンピュータの接続を説明しております。スキャナーは USB をコンピュータ外部に接続されます。コンピュータしていないコンピュータを使用する場合には USB インターフェイスカードをお買い求めになり USB 機能を追加してください。マザーボードが USB 機能を持っている場合には USB コネクタを購入、取付けを行ってください。本書はお使いのコンピュータが USB を使えることを前提に書かれています。

第二章では使用方法について説明しております。

第三章ではメンテナンス、清掃の仕方について説明しております。

第四章では簡単な問題に対処するためのテクニカルサポートです。

別表 A はご購入いただいたスキャナーの仕様が記載されています。

別表 B は製品保証並びに FCC に関する記述が記載されています。

## 本書の表示

[XXX] – コメントまたはコンピュータスクリーンの内容

*Italic (イタリック)* – 重要事項

**Bold (太字)** – スキャナーのボタン

## アイコンについて



警告

負傷または事故を防ぐために注意して従わなければならない手順。



注意

覚えておく価値があり、間違いを防ぐための重要な指示。



情報

参照のための、オプションの知識とヒント。

## 安全上のご注意

---



警告

故障、人体を損傷することがないように、本機をご使用になる前に以下の重要なインフォメーションをお読みください。

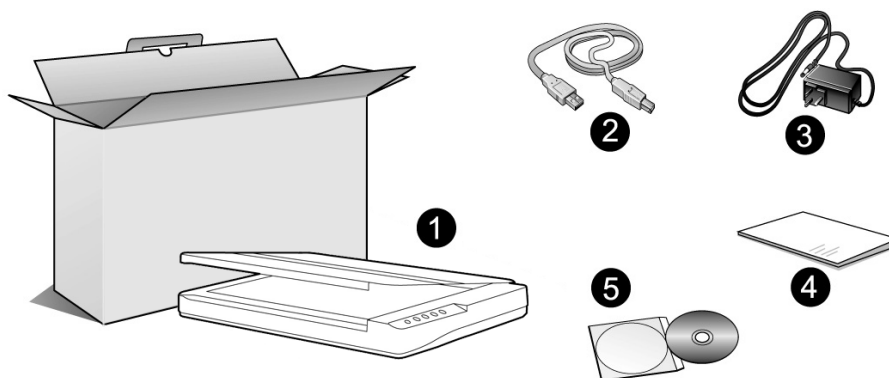
---

1. 当製品の使用箇所は屋内の乾燥したところです。下記の状態では本機の内部に結露が発生し故障の原因となることがあります：
  - ◆本機を冷たい場所から暖かい場所に直接移動させて時
  - ◆冷たい部屋を暖めた時
  - ◆本機を湿度の高い場所に置いた時結露を防止するために下記の
  - ①本機をプラスチックバッグに入れ密封して室温になじませてください。
  - ②1-2時間おいてから本機をバッグから出してください。
2. キャナに付属されている電源アダプタ及び USB ケーブルを必ず使用してください。他の電源アダプタやケーブルを使用すると故障の原因となることがあります。
3. 緊急時に AC アダプタを素早く抜けるよう AC アダプタの周囲は空けてください。
4. 配線の破損は出火、電気ショックの原因となります。電源コードはまっすぐ伸ばし、よじったり、曲げたり、擦ったりしないでください。
5. 夜間、週末等ある期間本機をしない場合には出火の原因を排除するため電源を抜いてください。
6. スキャナーを解体しないでください。電気ショックの危険があるため、スキャンを開くと保証の対象から外れます。
7. スキャナのガラス面はこわれやすいので物をぶつかけたり、叩いたりしないでください。
8. スキャナーに大きな振動を与えないでください。内部コンポーネントが損傷する恐れがあります。

## 必要システム構成<sup>1</sup>

- 2.4 GHzCPU プロセッサ以上[1]  
[1] 推奨される Windows: 4CPU コア以上の 2.8GHzIntel®Core™i5 プロセッサ
- 最小 4GB の RAM(推奨: 8 GB 以上、A3 サイズ@ 1200 dpi スキャン、最小 20 GB の仮想メモリが割り当てられています)
- プログラムインストール用の 6GB のハードディスク容量
- 1024x768 以上のディスプレイサイズ
- オペレーティングシステム Windows 7 / 8 / 10 / 11

## 梱包箱の内容物<sup>2</sup>



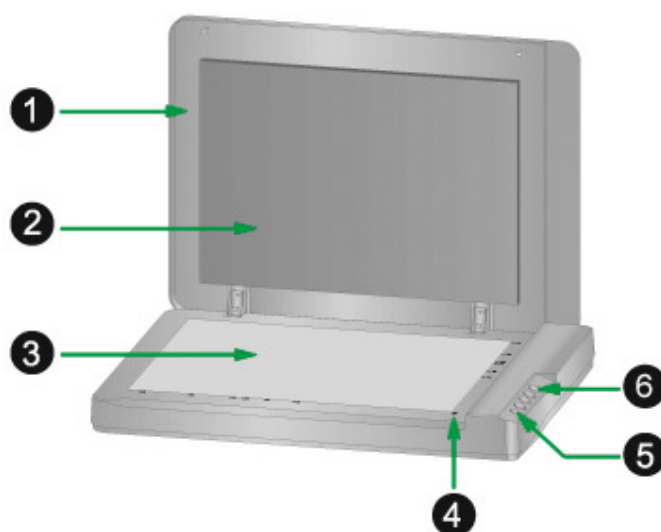
1. スキャナ<sup>3</sup>
2. USB ケーブル
3. AC アダプタ
4. クイックガイド
5. 設定／アプリケーション DVD-ROM

<sup>1</sup> 大きなイメージデータをスキャン、編集する場合にはより高い仕様が必要となります。本書で示す必要なシステム構成は目安であり、コンピュータの性能が上がる程よい結果が得られます。

<sup>2</sup> スキャナを輸送する時のために梱包箱は保管しておいてください。

<sup>3</sup> 当マニュアルに記載されたスキャナーの図は、実際の外観とは異なる場合があります。

## スキャナの概要



1. ドキュメントカバー: 本、書類をおさえるのに役立ちます。スキャナーのガラス面を保護します。
2. ドキュメントパッド: 本、書類を正しい位置に保持して、画像の品質を向上させます。
3. スキャナガラス: フラットベッドでスキャンする対象(本、書類)をここに置きます。
4. リファレンスマーク: 本、書類をこの位置に合わせます。
5. 電源スイッチ: スキャナーの電源を ON/OFF します。

パワー LED: スキャナーの状態を表示します。

| LED | 状態   |
|-----|--|
| 青   | スキャナーに電源が入っており、スキャンが可能な状態。                                 |
| 赤   | スキャナはスタンバイモードに入っています。スキャナパネル上のいずれかのキーを押して、スキャナが正常な状態に戻ります。 |
| Off | スキャナーに電源が入っていない。電源コード、AC 電源が正しく接続されていない。                   |

6. スキャナーボタン<sup>4</sup>: このボタンを押して、予め設定したスキャンングタスクを実行します。



7. 電源コードレプター(受け口): 付属の AC アダプタのコードをここに接続します。
8. USB ポート: PC とスキャナーを付属の USB ケーブルでここに接続します。

<sup>4</sup>当マニュアルに記載されたスキャナーの図は、実際の外観とは異なる場合があります。

9. USBハブ<sup>5</sup>: USBケーブルを使って、スキャナを別のUSBスキャナのUSBポートに接続します。

---

<sup>5</sup> ご購入のスキャナモデルによりこの機能は使用できない場合があります。



# 第1章 スキャナーの設置

スキャナーを設置する前に全ての構成部品が揃っているか梱包箱の内容物の項にあるリストに従って確認してください。

## ソフトウェアをインストールするにあたっての要件

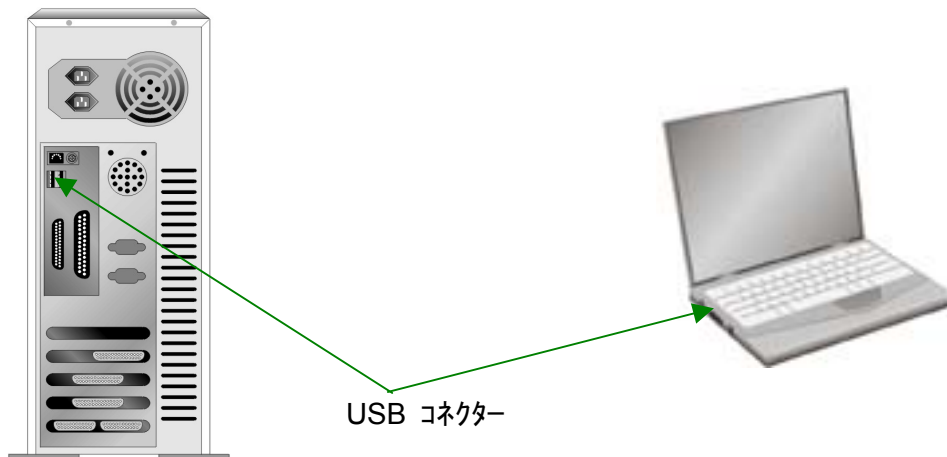
スキャナーにはスキャナドライバが付属されています。これらのソフトウェアをインストールした後にハードディスクに約 6 GB の空き領域が必要です。インストールのための十分なスペースとスキャン画像の保存のためには最低でも 6 GB の空き領域がハードディスクにあることを推奨しています。

USB スキャナーは Microsoft Windows 7 / 8 / 10 / 11 のオペレーティングシステム上でのみ動作します。

## ハードウェアの要件

本スキャナーは Plug & Play をサポートしている USB を介してコンピュータと接続されます。USB ポートについてはお使いのコンピュータのマニュアルを参照してください。

通常コンピュータには下図のように USB ジャックが付いています。



お使いのコンピュータに USB ポートがない場合には USB インターフェイスカードを購入して USB 機能を追加する必要があります。

## スキャナーの設置と設定

スキャナーを設置するにあたっては以下の手順に従ってください。

---



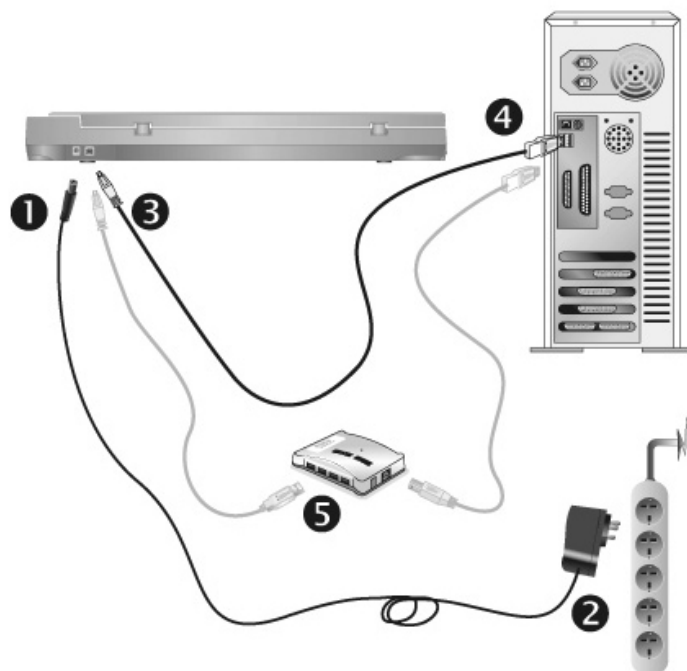
**注意**

### まず適切な設置場所を選んでください!

- スキャナーのセットアップやスキャン作業を行う前に、スキャナーを水平で滑らかなしっかりした面に置いてください。傾斜や凹凸のある面では、給紙エラー、スキャナーの故障、ケガの原因となります。
  - スキャナーをほこりの多い環境で使用しないでください。ホコリやその他物体が本体に損傷を与える恐れがあります。
-

## ステップ 1. スキャナーのコンピュータに接続します

ご使用のスキャナにUSBハブ<sup>6</sup>機能がない場合、以下の手順に従って接続します:



電源の入り切りの前には必ず、スキャナーのパワースイッチ OFF にしてください。

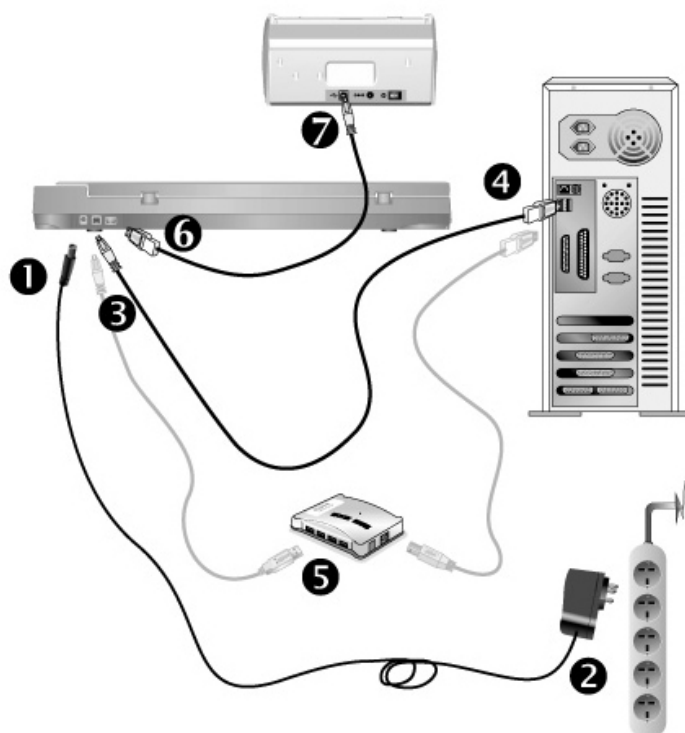
### 注意

1. スキャナーの電源レセプタに AC アダプタを接続します。
2. 電源ケーブルの反対側を AC 電源につなぎます。
3. 同梱の USB ケーブルの正方形の端をスキャナーの背面の USB ポートに接続します。
4. 同梱の USB ケーブルの長方形の端をコンピュータに接続します。
5. スキャナーをUSB<sup>7</sup>ハブに接続する場合には必ずUSBハブとコンピュータを接続してからスキャナーをUSBハブに接続してください。

<sup>6</sup> ご購入のスキャナモデルによりこの機能は使用できない場合があります。

<sup>7</sup> USB ハブはスキャナーには付属していません。ハブをご使用の場合は、外部電源アダプタを持つハブを使用することをお勧めします。

ご使用のスキヤナにUSBハブ<sup>8</sup>機能がある場合、以下の手順に従って接続します:



電源の入り切りの前には必ず、スキヤナのパワースイッチ OFF にしてください。

**注意**

1. スキヤナの電源レセプタに AC アダプタを接続します。
2. 電源ケーブルの反対側を AC 電源につなぎます。
3. 同梱の USB ケーブルの正方形の端をスキヤナの背面の USB ポートに接続します。
4. 同梱の USB ケーブルの長方形の端をコンピュータに接続します。
5. スキヤナをUSB<sup>9</sup>ハブに接続する場合には必ずUSBハブとコンピュータを接続してからスキヤナをUSBハブに接続してください。
6. USB ケーブルの方形のコネクタをこのスキヤナ後部の USB ハブに挿します。
7. USB ケーブルの方形のコネクタを別のスキヤナの USB ポートに挿します。

<sup>8</sup> ご購入のスキヤナモデルによりこの機能は使用できない場合があります。

<sup>9</sup> USB ハブはスキヤナには付属していません。ハブをご使用の場合は、外部電源アダプタを持つハブを使用することをお勧めします。

## ステップ 2. ソフトウェアのインストール

1. スキャナーの電源を入れてください。
2. コンピュータの USB 機能が正しく動作している時には「新しいハードウェアが追加されました。」、「新しいハードウェアが見つかりました」というメッセージが自動的に表示されます。



スキャナーを接続中にコンピュータを切ると次回 Windows をスタートした時に「新しいハードウェアが追加されました。」というメッセージが表示されます。

### 3. Windows 7 の場合

#### セットアップ/アプリケーション DVD-ROM がいくつかのスキャナモデル用の場合

- a. スキャナに同梱されていたセットアップ/アプリケーション DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。表示された[自動再生] ウィンドウで [install.exe の実行] をクリックします。



- b. [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスがポップアップしたら、[はい] ボタンをクリックします。ポップアップのインストールメッセージの指示に従います。
- c. [デバイスマネージャー] ウィンドウで、[ほかのデバイス] 項目の下からこのスキャナを右クリックし、ポップアップ メニューから[ドライバーソフトウェアの更新]を選択します。表示されたウィンドウで[コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します]をクリックしてから、[参照] ボタンをクリックします。
- d. [フォルダーの参照] ウィンドウで、DVD-ROM ドライブまたはスキャナのドライバーを含むフォルダーを選択し、[OK] ボタンを押して前の画面に戻ります。[次へ] ボタンをクリックし、[Windows セキュリティ] ウィンドウが表示されたら、[このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックします。ステップ 5 に進んでください。

#### セットアップ/アプリケーション DVD-ROM が1つのスキャナモデル用の場合

- a. スキャナに同梱されていたセットアップ/アプリケーション DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。表示された[自動再生] ウィンドウで [install.exe の実行] をクリックします。
- b. 「ユーザーアカウント制御」ダイアログがポップアップしたら、「はい」 ボタンをクリックします。ステップ 5 に進んでください。

### 4. Windows 8 / 10 / 11 の場合

- a. スキャナに同梱されていたセットアップ/アプリケーション DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。ポップアップ通知をクリックして、ポップアップ ウィンドウで「install.exe の実行」 をクリックします。ポップアップ通知が表示されない場合は、Setup/Application (セットアップ/アプリケーション) DVD-ROM を取り出して再度挿入してください。

- b. 「ユーザーアカウント制御」ダイアログがポップアップしたら、「はい」 ボタンをクリックします。ステップ 5 に進んでください。
5. 画面の表示に従って必要な全ての新しいソフトウェアをインストールします。ポップアップのウィザードウィンドウが表示されたら、[次へ] をクリックします。[Windows セキュリティ] ウィンドウの [このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックし、次にウィザードウィンドウで [完了] をクリックします。
6. ソフトウェアをインストール後に全てのアプリケーションを終了し、「終了」ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



### 注意

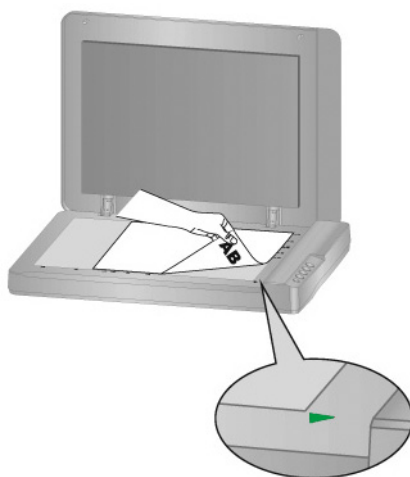
将来ドライバおよびソフトウェアの再インストールが必要になった時に備えて、セットアップ/アプリケーション DVD-ROM は正しく保管してください。

## ステップ 3. スキャナーのテスト

以下の手順に従ってスキャナーが正しく機能するかチェックしてください。テスト前にテスト接続を再度確認してください。



**正しくテストするために以下の手順に従ってください。**

1. スキャナーのドキュメントカバーを開けてください。スキャナーのスキャニングガラス面上に、スキャニングする面側を下にして原稿を載せてください。スキャナーガラスの端に読取スタート位置を示すマークが付いています。このマーク位置に原稿上部の紙端を合わせてください。



2. ゆっくりとカバーを閉めてください。

3. 以下のいずれかを行うと、ボタン環境設定ウィンドウが表示されます。

- Windows システムトレイの  アイコンをダブルクリックします。
  - Windows システムトレイの  アイコンを右クリックしてポップアップメニューから**ボタン環境設定**を選びます。
4. ボタン環境設定ウィンドウの左側ペーンにある **Scan** アイコンをクリックすると、現在のボタン設定が右ペーンに表示されます。ボタン環境設定ウィンドウでは、ボタンテンプレートのプルダウンリストから“File Utility”を選び、“保存先フォルダ”プルダウンリストに表示されるデフォルト保存フォルダを確認します。
5. スキャナの **Scan** ボタンを押します。スキャン動作がすぐに開始されます。デフォルトの保存フォルダにスキャンされた画像が保存されている場合は、お使いのスキャナは正しく動作しています。

## 追加のソフトウェアのインストール

スキャナは TWAIN に準拠しており TWAIN とコンパチブルなソフトウェアは動作可能です。追加のソフトウェアを購入する際には TWAIN に準拠したものを選んでください。

## 第2章 スキャン操作

スキャナーを動作させるにはソフトウェアプログラムが必要です。テキスト、写真にかかわらずスキャナーが取り込んだ全てのドキュメントやイメージはコンピュータによりイメージとして取り扱われます。通常はスキャンした画像を閲覧、編集、保存、出力する画像処理のソフトウェアが使われます。

スキャンしたテキストのドキュメントをワードプロセッサに取り込むためには、OCR (Optical Character Recognition) のソフトウェアを使用します。

DocAction プログラムは、お持ちのスキャナーをコンピュータやその他周辺装置と連携させてスムーズに操作できるようにし、種々のスキャン機能が素早く簡単に利用可能になります。DocAction では、スキャンの度に設定することは不要です。スキャナーのフロントパネルのボタンのどれかを押すか、画面上の DocAction のスキャンメニュー項目のいずれかをクリックするだけでよいのです。スキャナーは紙文書をスキャンし、指定した場所に保存します。指定先はプリンタ、ご使用の e メールプログラム、ディスクドライブ上のファイル、画像編集プログラムなどが可能です。

各プログラムをご使用の際にはオンラインヘルプをご参照ください。

本章ではスキャナー操作の重要な 3 ステップが説明されています。これをよくお読みになり、正しい使用と最適なスキャナー性能が得られるよう指示に従ってください。

ステップ 1. 文書の準備

ステップ 2. ドキュメントの置き方

ステップ 3. ドキュメントのスキャンング

### 文書の準備

スキャン前に正しく文書の準備することにより、給紙エラーやスキャナーへの損傷を防ぐことができます。

- 文書の状態の確認

#### 文書の状態の確認

文書がスキャナーに受け入れられる範囲か確認してください。詳細は当ガイドの別表 A: 製品仕様をご参照ください。

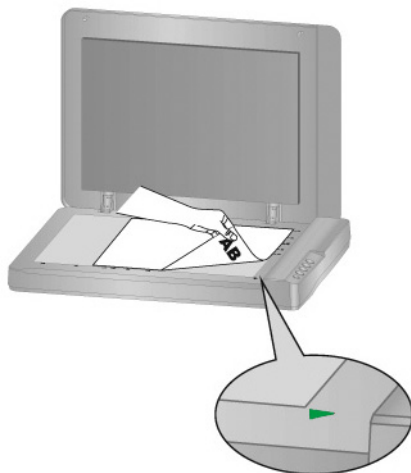
### ドキュメントの置き方

#### スキャナーのフラットベッドを使用するスキャンング

1. スキャナーのドキュメントカバーを開けてください。



2. スキャナーのスキヤニングガラス面上に、スキヤニングする面側を下にして原稿を載せてください。スキャナーガラスの端に読取スタート位置を示すマークが付いています。このマーク位置に原稿上部の紙端を合わせてください。



3. 静かにドキュメントカバーを閉めてください。

## ドキュメントのスキヤニング

スキャナーを動作させるには 4 の方法があります。


1. 付属の TWAIN インターフェイスを介して TWAIN 準拠のプログラムを使う。
2. スキャナーのスキヤンボタン。
3. ドックアクションズエグゼキュート(DocAction's Execute)のメニューから操作する方法。
4. DocAction ウィンドウ左側のアイコンからスキヤンして。

TWAIN インターフェイス及び DocAction はドライバをインストールする際に自動的にインストールされます。



### 注意

スキヤンを開始する前に以下をチェックしてください。

- お使いのコンピュータとスキャナの電源がオンになっている。
-  アイコンが Windows のシステムトレイに表示されていることを確認してください。
- 本(ドキュメント)が正しくスキャナーのガラス面上に置かれていることを確認してください。

## TWAIN インターフェイスを介してスキヤンする

TWAIN プログラムはスキャナーに付属されているソフトウェアの中でも非常に重要な役割をします。このプログラムはスキャナ(ハードウェア)と画像を見たり、編集したりする画像編集ソフトウェアのインターフェイスとして機能します。TWAIN プログラムによりスキヤンされた画像の品質を様々に設定することができます。

下記には TWAIN 互換プログラムを使って、TWAIN インタフェース経由でスキャンする方法が示されています。また TWAIN に準拠したスキャンプログラム、画像編集アプリケーションをお使いいただくこともできます。

## ご使用の TWAIN 互換プログラムにおいてスキャンします:

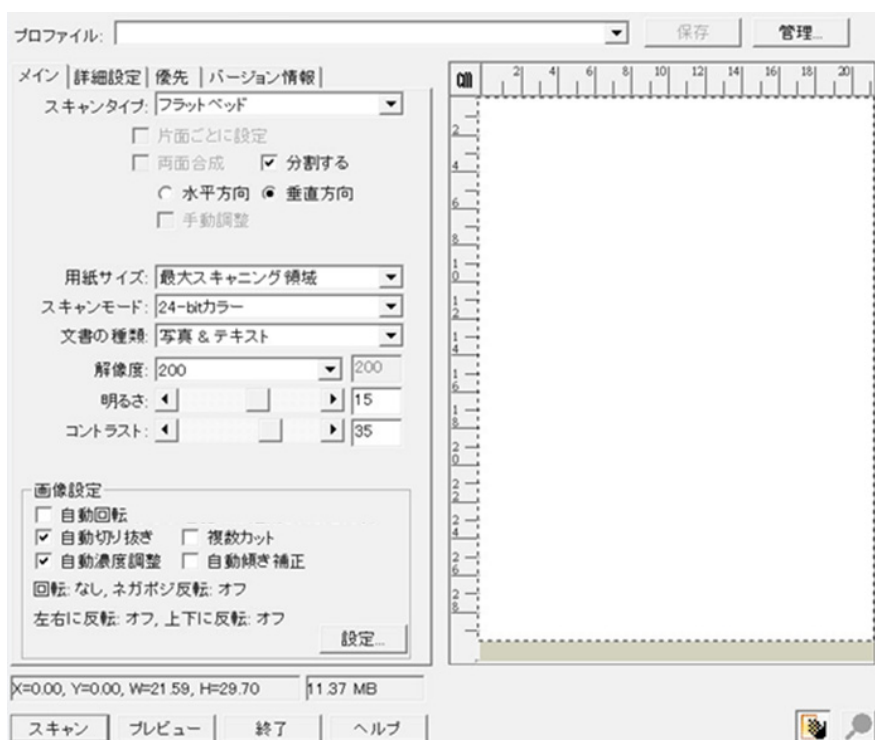
1. TWAIN 互換プログラムを起動させます。



### 注意

コンピュータに一つ以上のスキャナまたはイメージング機器がインストールされている場合には TWAIN プログラムを取得する前にこのスキャナをデフォルトスキャナとして設定する必要があります。設定については、ご使用の TWAIN 互換プログラムのマニュアルをご参照ください。

2. TWAIN 互換プログラムから TWAIN ウィンドウを開きます。詳細については TWAIN 互換プログラムのマニュアルをご参照ください。
3. TWAIN ウィンドウが開いたら給紙方法は「フラットベッド」を選択します。



4. スキャンの設定を行います。
5. プレビューボタンをクリックします。プレビューウィンドウにスキャンされた画像が表示されます。スキャンしたくない画像の部分取り除き、スキャンしたい画像を定義するには、イメージの隅をクリックしてからドラッグします。気にいらなければ再度繰り返して設定してください。
6. スキャンボタンをクリックします。
7. スキャンが終了したら終了ボタンをクリックして TWAIN ウィンドウをクローズします。スキャンされた画像は、TWAIN 互換プログラム内で表示されます。画像を修正、編集することができます。

設定の詳細は、TWAIN ウィンドウにあるヘルプボタンをクリックしてください。



## スキャナのボタン、または DocAction ズエクゼキュートメニューからのスキャン

スキャナ本体の各ボタンの設定は DocAction から設定されます。ドックアクションは頻繁に使用するスキャン操作を素早く行うことができる機能です。同じ設定で繰り返しスキャンする際に大変役立ちます。

このガイドでは、スキャナ本体上のボタンの操作を示すために使用されます。また、DocAction の画面上の実行メニューからタスクのスキャンすることは同じ実行があります。

### ボタンの環境設定

最初にスキャナのボタンを使ってスキャンする前にボタンの設定をすることを推奨しています。ドックアクションに登録する方法は2つあります。

- Windows のシステムトレイに表示されている  アイコンをダブルクリックします。
- Windows のシステムトレイに表示されている  アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから **ボタン設定** (Button Configuration) をクリックします。

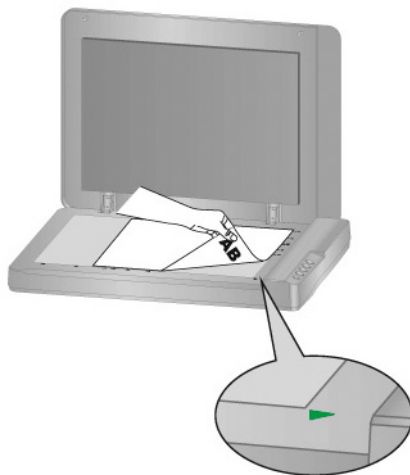
“ボタン環境設定” 画面では、画面の左側に横一列に並んだアイコンが表示されます。表示されたアイコンは、いずれも任意に選択できます。選択したアイコンのボタンに設定されている環境が右側に表示されます。この環境の設定項目はお好みの状態に変更できます。

設定の詳細は、**ボタン設定** ウィンドウのヘルプボタンをクリックしてください。

## ワンタッチ ボタンからのスキヤニング

とても簡単にドキュメントや画像をスキヤニングすることができます。

1. スキャナにドキュメントや画像をセットしてください。(文書に適切にフラットベッドガラスをセットする詳細については、「第2章 スキャン操作」をご参照ください。)

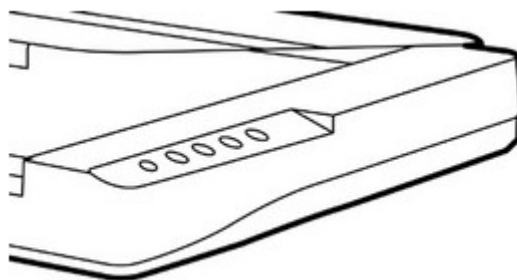



### 注意

OCR 処理ボタンはドキュメントを OCR 解析後テキスト変換するための専用ボタンです。画像のスキヤニングには使用できません。

2. つぎのどちらかの方法でスキヤニングが開始されます:

- スキャナの正面パネルのボタンを押す。



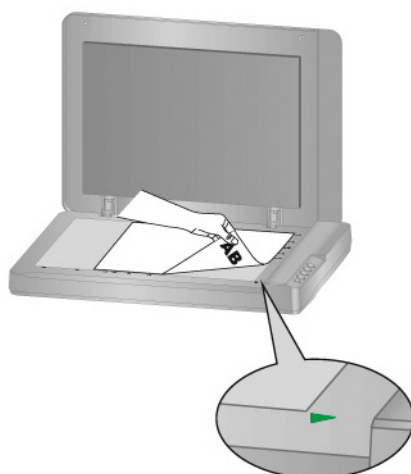
- Windows のタスクトレイに表示されている  アイコンを右クリックしてポップアップメニューから実行を選択します。

スキャナは直ちに起動してボタンの環境設定により設定された処理を実行します。

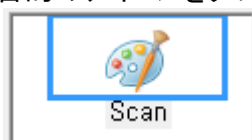
## DocAction ウィンドウ左側のアイコンからスキャンします

DocAction ウィンドウ左側のアイコンをダブルクリックしてスキャンを実行できます。下記の手順で行います。

1. スキャナにドキュメントや画像をセットしてください。



2. 現在のボタン設定は、メモステッカーの表示またはボタン設定ウィンドウから確認できます。必要があれば、現在の必要に合わせて設定を変更することも可能です。
3. DocAction ウィンドウ左側の目的のアイコンをダブルクリックします。



スキャナはすぐスキャンを開始し、**ボタン設定**ウィンドウで設定した処理を実行します。

## 第3章 お手入れとメンテナンス

お買い上げのスキヤナーはメンテナンス不要となっています。ですが、定期的なお手入れはスキヤナーが円滑に動作し続けるのに役立ちます。

### スキヤナーの清掃

スキャンする紙からの粉、ホコリ、インクやトナーがスキヤナーガラスを汚して、画質低下や給紙エラーの原因となる場合があります。スキヤナーの清掃頻度は、紙の種類やスキャンするページ数に依存します。

以下の手順でスキヤナー表面とスキヤナーガラスを清掃してください。ここで記述される箇所を静かに拭き取ります。強くこすらないでください。



警告

- スキヤナー清掃の前にスキヤナーの電源をオフにし、電源ケーブルと USB ケーブルを抜いてから、ガラスが室温になるまで数分待ってください。
- スキヤナー清掃後は手を石けんと水で洗ってください。

### 清掃用具

スキヤナー清掃には以下の用品を準備します。

- 柔らかで乾いた、糸くずの出ない布(または木綿のウェス)
- 研磨剤無添加の洗剤-イソプロピルアルコール(95%)。水は使わないこと。



注意

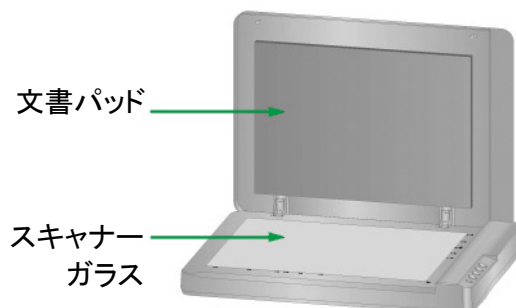
スキヤナーガラスの清掃にはガラスクリーナーや中性洗剤も代用できません。

他の用具を使用するとスキヤナーを傷つける可能性があります。

## フラットベッドの清掃

1. スキャナーのドキュメントカバーを開けてください。
2. 洗剤で湿らせた布で以下の部分を静かに拭きます。

文書パッドおよびスキャナーガラスの清掃:



3. 清掃した部分が完全に乾くまで待ちます。
4. 静かにドキュメントカバーを閉めてください。

## スキャナのキャリブレーションを行う

白であるべき部分に色が付いていたり、スキャンされた色が違いすぎたりする場合、スキャナのキャリブレーションを行ってください。これにより時間経過によって自然に生じる光学コンポーネントでの変化に対する調節や補償が可能です。

以下ではスキャナのキャリブレーション方法を説明します。

1. Windows の「スタート」メニューから、「プログラム(P)」 > 「スキャナモデル名」をポイントし、「クリーン ウィザード」をクリックします。(Windows 8.1 ユーザーの場合:マウスカーソルを画面の上または下右隅に合わせて「チャームバー」を開きます。[スタート]チャームをクリックし、画面左下にある下向き矢印 をクリックします。「アプリ」画面が表示されます。カーソルを画面の右端に移動して、「クリーン ウィザード」をクリックします。)
2. ポップアップ表示されるキャリブレーションウィザード で[次へ]をクリックします。
3. [キャリブレーションを行ら...]をクリックします。
4. キャリブレーションが完了したら、[OK] をクリックしてから[完了]をクリックします。

## スタンバイモード

電力消費を抑えるため、スキャナは一定時間アイドル状態になるとスタンバイモードに入ります。スタンバイモードに自動的に移行するまでのアイドル時間を設定したりできます。

1. Windows のスタートメニューから、**プログラム(P) > スキャナモデル名**をポイントし、**スキャナユーティリティ**をクリックします。(Windows 8.1 ユーザーの場合:マウカーソルを画面の上または下右隅に合わせて「**チャームバー**」を開きます。[スタート]チャームをクリックし、画面左下にある下向き矢印 をクリックします。「**アプリ**」画面が表示されます。カーソルを画面の右端に移動して、「**スキャナモデル名**」が見つかるまで右にスクロールし、「**スキャナユーティリティ**」をクリックします。)
2. 表示される スキャナユーティリティ ウィンドウの**スタンバイモード**セクションから、設定したい機能のボタンをクリックします。スタンバイモード(**スリープ**)に自動的に移行する:**スリープ**の前にあるボタンをクリックし、スキャナが自動的にスタンバイモードに移行するまでのデフォルト時間を上下矢印をクリックして設定します。



### 情報

スキャナが自動的にスタンバイモードに入るの時間を設定することができます。任意のスキャナボタンを押して、スキャナをスタンバイモードから復帰させることができます。

- 
3. OK ボタンをクリックして設定を保存し終了します。



### 警告

- スキャナーをシャットダウンするにはスキャナーの電源スイッチを押してください。
- 長期間スキャナーを使用しない時にはスキャナーをシャットダウンして、電源コードをコンセントから抜いてください。

---

また、**初期設定**をクリックすると、デフォルト設定に復元されます。スキャナを節電モードから復帰させるには、スキャナボタンをどれか押します。




## 第4章 トラブルシューティング



スキャナーに関する問題が生じた場合は、当ガイドの設置およびスキャン操作の指示を確認してください。

カスタマーサービスや修理を依頼する前に、本章の内容をご覧になりトラブルシューティングの FAQ (よく尋ねられる質問)をご参照ください。Windows スタートメニューからプログラム(P) > スキャナモデル名をポイントし FAQ をクリックします。(Windows 8.1 ユーザーの場合: マウскарソルを画面の上または下右隅に合わせて「チャームバー」を開きます。[スタート]チャームをクリックし、画面左下にある下向き矢印 をクリックします。「アプリ」画面が表示されます。カーソルを画面の右端に移動して、「スキャナモデル名」が見つかるまで右にスクロールし、「FAQ」をクリックします。)

### スキャナーの接続

スキャナーに問題があった場合、最初のトラブルシューティングはスキャナーの物理的な接続をチェックすることです。スキャナーとコンピュータが正しく接続されソフトウェアが正常に起動すると Windows システム

トレイに  アイコンが表示されます。

| 表示  | 状態  |
|---|---|
|  | スキャナーとコンピュータが正しく接続されソフトウェアが正常に起動しています。読取準備完了です。             |
|  | スキャナーが接続されていないか、スキャナーの電源が入っていません、スキャナーはスタンバイモードに入っています。     |
| 表示なし  | スキャナーが接続されている、されていないにかかわらずソフトウェアが起動していません。(ソフトウェアが終了しています。) |

## 別表A: 製品仕様<sup>10</sup>

|                  |  |
|------------------|--|
| イメージセンサ          | CIS  |
| 光源               | LED  |
| スキャンモード          | カラー:入力 48 ビット、出力 24 ビット<br>グレースケール入力 16 ビット、出力 8 ビット<br>モノクロ:1 ビット |
| スキャン領域           | 最高: 297 x 431.8 mm (11.69" x 17")                                  |
| 一日の推奨処理枚数        | 2,500  |
| 電源               | AC 電源: 24 V / 0.75 A   |
| 接続               | USB 2.0  |
| 重量               | 4.32 Kgs (9.52 Lbs)  |
| 寸法 (幅 x 奥行 x 高さ) | 589 x 407 x 68 mm (23.18" x 16.02" x 2.67")                        |
| プロトコル            | TWAIN をサポート  |

ご使用のスキヤナのモデルが xxxx"H"であれば、このモデルには USB ハブ機能が備わっています。

<sup>10</sup> 仕様は予告なく変更されることがあります。

## 別表 B: カスタマーサービスと製品保証

当社ウェブサイト [www.plustek.com](http://www.plustek.com) より、カスタマーサービスの詳細情報が入手できます。には下記を事前に準備してください。

- スキャナーの名称及びモデル No.
- スキャナーのシリアル No. (スキャナーの底面に貼ってあります。)
- スキャナーDVD バージョンおよびパーツ番号
- 障害内容
- ご使用のコンピュータのメーカー名、モデル名
- ご使用のコンピュータの CPU 速度
- オペレーティングシステム及び BIOS
- ソフトウェア名、バージョン No.、リリース No.、ソフトウェアメーカー名
- インストールされているその他の USB 機器

### サービスおよびサポート情報

必要時には交換部品入手可能期間および製品アップグレード情報が提供されます。これら情報は地元の代理店や販売店にお尋ねください。

対応する施行制度によって要求された情報。地元の代理店や販売店に施行制度のテストレポート情報をお尋ねください。

製品の処分はまず地元の代理店や販売店に正しい廃棄方法を確認して行うことで、環境への影響を最小限にとどめることができます。

製品や付属品の廃棄を望む場合、最寄りの廃棄業者への連絡方法を地元の代理店または販売店にお尋ねください。

メンテナンスが必要な場合は、最寄りのメンテナンスセンターへの連絡方法を地元の代理店または販売店にお尋ねになり、製品使用可能期間を延ばすことができます。

製品のメンテナンスや撤去が必要であれば、地元の代理店または販売店に最寄りのお店の情報をお尋ねください。

## 製品保証

製品保証は正規代理店から転売目的でなく自らの使用目的のために購入された方のみ適用されます。

メーカーの保証は部品、修理費用を含みますが購入時の領収書がない場合には保証は適用されません。製品保証サービスを受けるには弊社正規代理店、販売店にご連絡いただくか弊社のホームページからサービス情報をチェックしてください。E-Mailでのお問い合わせも受け付けております。

製品を他のユーザーに譲渡した場合、譲渡されたユーザーは保証の残存期間サービスを受けることができます。譲渡する場合には領収書等の購入時証拠書類も渡してください。

弊社では書類に記載された通りに製品が動作することを保証いたします。購入時の証拠書類の提示により交換された部品の保障期間は製品の残存期間と同じとします。

保証サービスで製品を持ち込む際には全てのプログラム、データ、脱着可能なストレージメディアは外してください。ガイド、ソフトウェアなしで返却された製品は、修理後ガイド、ソフトウェアなしで返却されます。

事故、天災、破壊、誤使用、不正使用、不適切な環境での使用、プログラムの変更、他の機械、本機の改造に対して製品保証は適用されません。

本機が本来設計された目的の用途で使用された場合にのみ製品保証は適用されません。

製品保証についてのお問い合わせはお買い求めになった正規販売店またはメーカーのお願いいたします。

この製品保証は明示、黙示を限定せずある目的のための目次的保証を含む他の全ての保証置き換わるものである。法律によっては黙示的保証の除外を許容しないことがあり、この場合全ての明示、黙示的保証は保障期間内にのみ限定される。この期間を過ぎた後はいかなる保証も適用されません。

黙示的な保証がどれだけ長く続くか制限を設けることを許容しない法律の場合には上記の制限は適用されません。

如何なる場合でも下記に対しては免責です。

1. 第三者が貴社(貴殿)に対して行う損失、損害の請求
2. 貴社(貴殿)の記録、データも喪失、損害
3. 因果的な経済的損失(遺失利益、節約を含む)、付随的な損害

付随的、因果的な損害の制限を排除することを許容しない法律の場合には上記の制限はまたは除外は適用されません。

製品保証は法的権利を与えるものであって、法律によって他の権利をもつこともありえます。

## FCC 規格

本機はテストの結果、FCC Rules の Part 15 に規定されたクラス B デジタル機器の限界値に適合していることが確認されています。この限界値は、住宅環境で発生する有害な妨害に対して適切に保護するためのものです。この機器は、無線周波数エネルギーを生成し使用し、また放射することがあります。説明書どおりに設置して使用しないと、無線通信に対して有害な妨害を及ぼすことがあります。ただし、特定の設置状況において妨害が発生しないことを保証するわけではありません。この機器がラジオやテレビの受信に対して有害な妨害を発生させ、それが機器のオン/オフによって確認できる場合、次のいずれかを行って妨害に対処するようにしてください。

- 受信アンテナの方向を変えるか位置を変える。
- 装置と受信機の距離を離す。
- 受信機に使用しているコンセントとは別のコンセントに装置を接続する。
- 装置に付属しているシールド付き内部接続ケーブルとシールド付き電源コードは、当装置が電磁波放出限界を超えないよう常に使用する。
- 状況が改善されない場合は、購入先またはラジオ・テレビに詳しい技術者に問い合わせる。
- 製造者が明確に認めていない変更や改変は、ユーザーの装置を操作する権利を無効にします。

この製品は、FCC Rules の Part 15 に適合しています。次の 2 つの条件に従って運用します。(1) 有害な妨害を発生させてはならない。(2) 意図しない動作を引き起こす可能性がある場合も含めて、すべての受信妨害を受け入れなければならない